

99年度「みどりこどもエコクラブ」実施案

回	テーマ	日時	場所	目的	備考・
1	オリエンテーション	4/25(日) 午前 安古市店 午後 五日市店	公民館	開会行事・アイスブレイクを目的としたゲームや歌、総合的環境学習	
2	川の学習	5/16(日)安古市店 5/23(日)五日市店	古川(安古市店) 八幡川(五日市店)	水生生物と水質の関係を中心とした水辺の生態系についての学習	
3	環境にやさしい生活とは?	6/6(日) 午前 安古市店 午後 五日市店	安古市店 五日市店	スーパーの中で環境にやさしい商品を探す グリーンコンシューマーとしての買い物の仕方を学ぶ	
4	食品トレイのリサイクルを考える	7/26(月)	ザ・ビッグ 埋立地 福山エフピコ	スーパーのトレイ回収の実体験 広島市資源選別センター、埋立地、トレイリサイクル工場の見学	安古市店と五日市店の共同実施
5	自然学校	8/9(月)~8/10(火) 8/11(水)~8/12(木)	豊平町共盛集会所	1泊2日の自然体験を中心としたプログラム(沢登り・ゴミの分別ゲーム、原始の火起こし、そば打ち体験、川遊び、エコクッキング他)	安古市店と五日市店は入れ替わり
6	ビーチクリーンアップ in 宮島	9/23(水)	宮島包が浦	海岸ゴミを調査して海の問題について考える、ネイチャーゲーム	安古市店と五日市店の共同実施
7	消費者の環境意識を考える	10/31(日) 午前 安古市店 午後 五日市店	安古市店 五日市店	スーパーの買物客の袋持参率調査 スーパーのレジの横で袋持参率調査を行う	
8	山の観察	11/23(祝)	二葉山	樹木観察やネイチャーゲームを通じて、里山と私たちの関わりについて考える(自然に育てられる私たち)	安古市店と五日市店の共同実施
9	まとめ、環境への提言まとめ	12/5(日) 午前 安古市店 午後 五日市店	安東公民館 八幡公民館	これまで学習してきたことを振り返り、これからの私たちの生活のあり方や環境に対して自分たちのできることを考える	

午前は10:00~ 午後は15:00~を予定 日時場所開始時間等変更の可能性があります。

私と地球号とエコクラブ

戸野直之

ほっと一息

1998年12月25日の第9回講座の最後に、シリブカガシのドングリを植種して、'98年度の“みどりこどもエコクラブ(以下エコクラブ)”の全プログラムを無事終了することができた。全員そろっての記念撮影の後、昼食を食べるため急ぎ帰る受講生の小学生を見送りながら、仲良くなった子どもたちとの別れを惜しむというよりも、「やっと終わったか」という安堵感を感じたのが正直なところであった。大きなため息をつきながら、あたりを見回すと、他のスタッフもやはり大きなため息をついていた。とここまで書くと、エコクラブの運営が大変で、全然楽しくなかったような誤解を与えかねないので、言っておく。確かに大変なことは大変だったが、エコクラブはとても楽しかったのである。このような思いは、エコクラブの講座が進むごとに自分の中で、あるいはスタッフの間においても広がり、深まっていったと確信している。

エコクラブに関わるまで



そもそも私とエコクラブ(小学生対象の環境教育講座)との関わりは、宇宙船地球号の会への入会動機にまでさかのぼらなければならない。当時、入会直前の私は、それまでの会社員時代にピリオドを打ち、子どもたちの教育に情熱を燃やし始めた時期であった。これまでの自分自身のライフスタイルを反省し、「このままでは今の社会や地球は持たないのではないか?」と漠然と不安に感じていた。「自分でも何か行動しなければ」と思いつつも、そのような行動力や勇気を持ち合わせていなかった。そんな時、機関誌地球号を通してこの会の存在を知り、竹本さんをはじめ、会員の方々の地道な努力や行動に、大い